

# いのちまもる キャラバン行動ニュース

第3号

2014年9月11日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

いよいよ「いのちまもる地域キャラバン行動」がスタートしました。日本医労連は9月8日「めざすべき看護体制の提言」について厚生労働省内の記者クラブにて記者会見を行ない、その後日本医師会の釜谷敏<sup>かまやあきとし</sup>常任理事と懇談しました。

記者会見

日本医労連「めざすべき看護体制の提言」

## 300万人看護体制を！



日本医労連から中野千香子委員長、三浦宜子書記長、中丸登代子副執行委員長、森田進書記次長が会見、記者側は朝日新聞、連合通信、しんぶん赤旗が参加しました。中野委員長は看護師の2013年度夜勤実態調査をもとに、心身にやさしい勤務体系には「1日の労働時間は8時間以内・勤務間隔最低12時間以上・週32時間、そして夜勤は月8日以内の正循環勤務、看護師対患者比率は日勤で1:4、夜勤で1:10以上」を徹底するように求めました。そして、



日本医師会

消費税10%になると

## 「診療報酬の見直し必要！」



記者会見の午後には日本医師会との懇談があり、釜谷敏<sup>かまやあきとし</sup>常任理事に対応していただきました。医療介護総合法に含まれる、看護師の特定行為問題や病床機能再編問題での意見交換を中心に懇談を進める中で、釜谷常任理事は「看護師が安定して働ける職場と体制づくりはとても重要であり、特定行為については看護師の不安を払しょくすべき」と述べられました。病床機能再編や消費税増税に関する対応などは、「今後必要に応じて対応し、消費税10%になるときは診療報酬の見直しも必要」との見解を示しました。



日本医労連は引き続き、看護協会などの医療関係団体と懇談を予定しています。

各組織のキャラバン行動の様子や、関係団体との懇談・対県交渉などニュースをお寄せください！